



はまちか そうへい
濱近 草平 さん (46歳)

砂子又・里地区 在住

香川県丸亀市出身で、以前は東京大学（文学部）を卒業後、NHKに入局し、ディレクターとして活躍しました。

しかし、幼いころからの夢である「医師になりたい!」という思いが再燃し、30代になってから岡山大学医学部に入学しました。

過疎地での地域医療に注目し、総合診療医・家庭医の道へ進みました。

先日、家庭医療専門医試験に合格し、東通村で活躍しています。

濱近さんは、令和元年9月から1年ほど、東通村で医師として活躍し、奈良県・沖縄県へ活躍の場を移し、今年7月に再び東通村へ来ていただきました。

幼い頃から、医師になることを夢見ていたという濱近さんは、東慶大学を卒業後にNHKで9年程働いた後、医師への思いが再燃し、

34歳で岡山大学医学部へ入学、40歳で卒業した遅咲きのお医者さんです。

現在は、東通村診療所・白糠診療所・訪問診療などで村民の方々と触れ合っています。

濱近さんは、東通村について「とにかくいい人ばかりで、温かい。

毎日村民の方と触れ合うのは楽しいです。あとは自然が豊かで心が癒されますし、食べ物美味しくいただけます！なかなかダイエットが上手いきません（笑）」と話してくださいました。

今後について濱近さんは「いい医療、いい介護を受けられて、ここに住んで良かったと思える東通村を作っていきたいです。そのため村全体に何が求められているのか、何を改善すればいいのかを沢山のひと話して考えていきたいと思えます」と話してくださいました。



電話診療を行う濱近医師